

【学術セミナーのご案内】

(兼 第3回大学院講義「顕微鏡学・質量分析学」)

スピン解析学

徳丸 治 博士

大分大学 福祉健康科学部 教授

自転する原子核は小さな磁石としての性質をもち、強い磁場中に置かれると核磁気共鳴という現象がみられる。この性質を用いて、生体組織中に存在する化合物を同定・定量することができる。一方、自転する電子も小さな磁石としての性質をもち、電子スピン共鳴という現象を示す。この性質を用いて、化合物中の不対電子を捉え、フリーラジカルを直接定量することができる。我々はこれら自転する原子核と電子の性質を用いて、虚血再灌流負荷に伴うエネルギー代謝や過酸化に関する研究を行っており、これをスピン解析と呼んでいる。このスピン解析について概説し、そこからなぜ質量分析イメージングを試みるに至ったかお話ししたい。

【講師ご略歴】

平成2年 防衛医科大学校 医学部 医学科 卒業
平成2年 防衛医科大学校 小児科学講座
平成4年 第8航空団基地業務群衛生隊 診療班長
(平成7年1月～6月 米国空軍上級航空医学課程)
平成7年 防衛医科大学校 生理学第2講座
平成9年 航空医学実験隊 第4部 医用電子研究室 航空医官
平成11年 宇宙開発事業団(JAXA) 宇宙医学研究開発室 医長
(平成11年7月～平成13年7月 NASA/テキサス大学 航空宇宙医学課程)
平成14年 東京女子医科大学 医学部 第一生理学教室 助手
平成17年 大分大学 医学部 神経生理学講座(生理学第一) 助手
平成18年 同 助教授(平成19年より 准教授)
平成28年 現職

日時： 7月6日(木) 17:30～19:00

場所： 臨床講義棟 小講義室

上記のとおり、大分大学 福祉健康科学部・徳丸先生によるセミナーを開催いたします。本セミナーは大学院講義の一環ではありますが、本学の教職員、医師、学生をはじめ、学外の方も自由に聴講できます。ふるってご参加ください。